



▲ 3月2日の市長選挙開票風景

第四代市長に五十嵐氏が当選

投票率72%・前回を10%下まわる

任期満了に伴う留萌市長選挙は、さる二月二十三日告示され、三月二日投票が行われました。

投票は、午前七時から市内二十一カ所で執行され、即日開票の結果、五十嵐悦郎氏が初当選を果し、向こう四年間の《留萌のマチづくり》を進めることになりました。今回の投票率は七十二・二〇%、前回（昭和五十七年執行）の八二・二三%を約十%を下まわる結果となりました。

二十八人（男一万二千九百九十九人、女一万三千三百一十一人）が選挙権をもち、六千九百五十九人が投票した。市内二十一カ所の各投票所での投票率は（表を参照）では、最高で八十七・七二%が、最低で六十七・七五%であった。市街地では留萌百八票が白紙票であった。

中学校の七七・五七%がトップ、続いてかもめ幼稚園、消費生活センター、東部地区公民館、港北小学校の各投票所が上位となっている。

ちなみに、標準投票所となつていますが、港南中学校では六十七・七五%であった。

今回の投票総数は一万八千六百九十九票で、このうち有効投票は一万七千八百八十票、無効投票が百八十九票、そのうち百八票が白紙票であった。

（当選者と各候補得票）

■五十嵐悦郎氏（当選）
一万五八六七票

■野越 実氏
二〇一三票

今回の市長選挙は、市制執行以来十度目（四十九年の無投票を含む）の投票で、ことし道内で実施される十市の市長選挙のトップをきつて行われたものです。

この日は、曇り空ながら穏やかな天気に恵まれ、投票日としては上々の方。

当日の有権者数は二万五千

留萌市長選挙での各投票所の投票者数と投票率

投票所名	当日有権者数	投票者数	投票率%
大町会館	1,831	1,332	72.75
留萌地域消費生活センター	1,354	1,009	74.52
留萌小学校	2,018	1,457	72.20
港南中学校	3,110	2,107	67.75
港南コミュニティセンター	2,449	1,670	68.19
かもめ幼稚園	967	727	75.18
末広児童館	1,447	1,037	71.67
東光小学校	2,239	1,538	68.69
港北小学校	822	602	73.24
春日児童館	680	485	71.32
留萌中学校	2,666	2,068	77.57
東部地区公民館	1,730	1,268	73.29
浜中会館	200	165	82.50
礼受小学校	223	170	76.23
三泊小学校	485	377	77.73
大和田生活館	511	376	73.58
藤山小学校	236	183	77.54
幌糠地区公民館	432	327	75.69
樽真布小中学校	46	40	86.96
峠下小学校	57	50	87.72
花園会館	1,525	1,081	70.89

市長就任あいさつ

市民参加を基本に 公正で清潔な市政を

留萌市長 五十嵐 悦郎



このたびの留萌市長選挙に際し多くの市民の方々から力強いご支援をいただき、市政運営という重責を担うにあたり、一言皆様にご挨拶を申し上げます。

私は、原田前市長が二十四年間という長い歳月にわたるご努力により、今日まで築いていただいた基礎を糧とし、道筋を決して誤ることなく踏襲して参ることは勿論であります。固なものとして二十一世紀の人々に引継ぐためには、この道標に新鮮な感覚と大胆な発想を加え、新たな留萌市政への転換を図る決意です。

さて、我国の現況は、円高問題や国際貿易摩擦など依然として厳しい状況下にあり、地方自治体を取り巻く情勢もまたそれらの余波を受け、樂觀できる条件はほとんど見当たらないのが現状です。とくに、本市においては産業構造上からも上部関係機関への依存度は極めて大きな情勢にあり、脆弱な財政基盤を痛感している所でもあります。

このことは改めて申すまでもなく日常生活環境の整備を始め、教育施設の整備や福祉制度の充実など諸施策への反映に、影響は誠に大きなものがあります。

私は、この難局の時にあたり民主主義の基本である自治意識の定着と、言い尽くされたい言葉ではありますが「市政の主人公は市民である」このことを基本理念として積極的な施策の推進を図って参る積りであります。

市民を主体とした行政と市民とが相互に励ましあい、協力しあうことによつて明日への限らない希望にあふれ、健康で豊かな社会生活が求められるよう生活重視の市政を進めて参ります。

私は、市政への市民参加を基本に、愛する郷土留萌をより活力ある産業文化都市として創造するため、第一に愛と真心のふれあう地域福祉の増進、第二に住みよい個性豊かな近代都市づくり、第三には活力あふれる生産都市の創造、第四には創造力と人間性を育む文化都市づくり、第五に効率的な行政・財政で信頼の市政を確立する。これら五本の柱を基本として市政運営を進めて参りたいと思ひます。

また、今後は、健全財政への道を求め創意工夫を重ね、効率的かつ実質の伴つたものとし、市民要望に応えるべくマチづくりに取り組みます。皆様の暖かいご理解とご助力をお願い申し上げます。

よこがお

■市内大町三丁目 五十七歳。

▼昭和三年留萌市に生まれる。留萌小、留萌中を経て、二十六年明治大学を卒業。二十八

年北海道庁職員となり、留萌支庁総務課地方係、広報係長などを経て四十三年道商工部工業課電政第二係長。

▼このあと四十四年留萌市職員となる。商工水産課長、企画広報室長などを経て四十九年産業港湾部長、五十二年総務部長などを勤める。五十八年に助役に選任、五十九年に退任する。六十年から留萌商工会議所専務理事。